

○石井 伊都子¹

¹千葉大病院

病院には複数の職種が渾然一体となって働いている。医師の働き方改革が叫ばれているものの、その他の職種も同じように超過勤務を強いられ、薬剤師も人ごとではない。各職種の仕事は蜘蛛の糸のように繋がっているため、全体が良くなることが求められる。例えば、処方発生源である医師の仕事が遅くなれば、薬剤師の調剤が遅れ、それに付随する事務処理は時間外勤務となる。

千葉大学医学部附属病院では、職場環境向上委員会 -Happy work project- を設置し、病院で働く全ての職員に対して働き方改革を進めている。適切な休養は業務の集中度を上げる一方、長時間残業は医療事故に繋がりがやすく、結果的に患者のQOLを低下させる。働き方改革のキーワードとして life-work synergy を提唱し、all-byoING 職員の意識改革を始めている。更に、院内保育所、職員アメニティ、会議改善4か条、メールの出し方、超過勤務対策、挨拶運動等を本シンポジウムにて紹介する。まだ改革の道半ばではあるが、皆様の参考になれば幸いである。